

| | | | | |
|----------------|-----|--------------|--------|------------------|
| 総合 計画 体系 | 政策名 | 推進計画 | 施策主管課 | 政策推進課 |
| | | | 施策統括課長 | 佐藤 満 |
| | 施策名 | 39 計画的なまちづくり | 関係課 | 人事課,財政課,行財政改革推進課 |

1. 施策の目的と指標

| 目的 | ①対象(誰、何を対象としているのか) | | 対象指標 | 単位 | 区分 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | |
|---------------------------|--------------------|--|--------------------------------------|-----|----|------|------|------|------|------|-------|--|
| | 的 | 施策 | A | 施策数 | 施策 | 実績 | 36 | 36 | 40 | | | |
| 見込 | | | | | | | | 40 | 40 | 40 | 40 | |
| B | | | 実績 | | | | | | | | | |
| | | | 見込 | | | | | | | | | |
| C | | | 実績 | | | | | | | | | |
| | | | 見込 | | | | | | | | | |
| ②意図(どのような状態にするのか) | | 成果指標 | | 単位 | 区分 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | |
| 計画的に目標を達成する。 | | A | 各施策の成果指標平均達成率[目標を達成した成果指標の数/成果指標の総数] | % | 実績 | 27.9 | 53.5 | 50.4 | | | | |
| | | | | | 目標 | | (30) | 80.0 | 80.0 | 80.0 | 100.0 | |
| | | | | | 実績 | | | | | | | |
| | | | | | 目標 | | | | | | | |
| 成果指標設定の考え方 (成果指標設定の理由) | | 計画的に目標を達成できているかどうかは、各施策の成果指標達成状況により判断できると考えた。 | | | | | | | | | | |
| 成果指標の測定企画 (実績値の把握方法) | | 施策評価シートで把握 | | | | | | | | | | |
| 目標設定とその根拠 (基本計画策定時) | | A)各施策の成果指標平均達成率 成行値は、何らかの対策を講じなければ、各施策の目標は達成できないと考える。目標値は、各施策において最終年度の目標達成を目指して推進していくことで、H26年に100%を目指す。 | | | | | | | | | | |

2. 基本事業の目的と指標

| 基本事業名 | 対象 | 意図 | 成果指標 | 単位 | 区分 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|------------------|------------|--------------|----------------------------|----|----|------|------|------|------|------|------|
| ① 総合計画の策定と進行管理 | 施策 | 計画的に目標を達成する。 | 施策の成果指標平均達成率 | % | 実績 | 27.9 | 53.5 | 50.4 | | | |
| ② 横断的プロジェクトの進行管理 | 各部局にまたがる事業 | 計画的に事業を推進する。 | 政策課題の処理率(処理できた議題数/政策会議議題数) | % | 実績 | | 97.0 | 93.2 | | | |
| ③ | | | | | 実績 | | | | | | |
| ④ | | | | | 実績 | | | | | | |
| ⑤ | | | | | 実績 | | | | | | |

3. 施策の役割分担と状況変化

| | 住民(事業所、地域、団体)の役割 | 行政(市、県、国)の役割 |
|--------|--|---|
| ① 役割分担 | <ul style="list-style-type: none"> ●まちづくりの方向や施策の内容を理解するよう努める。 ●自助、共助、公助を考え、まちづくりに参画する。 ●NPO、自治会、グループ、地域自主組織等あらゆる団体が、その団体の特性を活かし、まちづくりに参画する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●まちづくりの方向を明らかにし、計画的に事業推進するための調整や、行政評価による地域経営の視点にたった行財政運営を図る。 ●市政運営の透明性を図り、市民が行政に参画・参加しやすい仕組みを整備する。 ●市民との協働による課題の解決に向け、施策の企画立案・実施に努める。 |
| ② 状況変化 | <p>A) 施策を取り巻く状況(対象や根拠法令、社会情勢等)は、今後どのように変化するか?(本年度を見越して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東日本大震災の影響や国の財政状況の悪化、少子高齢化、市民ニーズの多様化など社会情勢の変化に合わせた施策展開が必要である。 ○国と地方の関係の見直しや権限移譲・財源移譲が議論されている。 ○国の出先機関の見直しが進められている。 | <p>B) この施策に対して、住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民の行政サービス向上への期待は高い。また、経済対策を求める意見がある。 ○市の財政状況については、市民に概ね理解されている。 ○地域自主組織を中心とした市民の市政への参画がみられる。 |

4. 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

| 他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べた成果水準) | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてかなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてどちらかと言えば高い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてどちらかと言えば低い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてかなり低い水準である。 | 背景・要因 ○他団体では、同等の成果指標がないことから明確に比較することができない。 |

4. 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

| 時系列での比較(成果水準の推移) | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した | 背景・要因 ○各施策は、目標達成に向け着実に取り組んでいる。しかし、市民要望の高まりもあり、成果目標に対して達成した成果指標は約半数であった。 |

5. 施策の振り返り評価

| 施策の目標達成度(前年度の成果指標値に対する実績値の達成度) | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 目標値より高い実績だった <input type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった <input checked="" type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった | 背景・要因 ○各施策において着実な成果向上はあるが、目標水準からみると低い実績となった。 ○市民要望が年々高まっており、施策の効果が市民満足度の向上に結び付いていない部分もあると推察する。 |

| 基本事業 | 取り組んだ事務事業の総括(事務事業貢献度評価:貢献した事務事業、課題が残った事務事業) |
|------------------|--|
| ① 総合計画の策定と進行管理 | ・行政評価は、本格導入5年目となり、施策評価、事務事業評価の研修を積み重ね、機能・精度の向上に努めた。また、GL級職員による事務事業の貢献度及び優先度評価に取り組み、行政評価を幅広い職員で運用していくようにした。 ・H23年度から組織目標を導入し、各部局の当年度の目標を明確にするとともに、人事評価での個人目標にもつなげた。 ・議会から行政評価結果(施策・事務事業)に対する意見をいただいた。 |
| ② 横断的プロジェクトの進行管理 | ・政策決定フローの見直しを行い、庁議の運営を改善した。 ・部局間を横断するプロジェクトについて、庁内調整を図った。特に横断的なプロジェクトとして取り組んだブランド化プロジェクトや総合特区申請、大学との連携については、庁内調整を図り総合的に進めた。 |
| ③ | |
| ④ | |
| ⑤ | |

6. 今後の課題と次年度の方針(案)

| 区分 | 今後の課題 | 次年度の方針(案) |
|------|---|---|
| 施策 | ○計画的に目標を達成するためには、行政評価の成果を組織目標、個人目標につなげていく必要がある。 | ○行政評価、組織目標、人事評価、財政計画及び行革計画との連携を進め、計画的に推進する。 |
| 基本事業 | ① 総合計画の策定と進行管理 | ○行政評価、組織目標、人事評価、財政計画及び行革計画との連携を進め、計画的に推進する。 ○事務事業の見直し(新設・統合・廃止等)を着実に推進していく。 ○次期総合計画の策定に取り組んでいく。 |
| | ② 横断的プロジェクトの進行管理 | ○職員間で政策情報を共有する。 ○役割分担を明確にする。 |
| | ③ | |
| | ④ | |
| | ⑤ | |